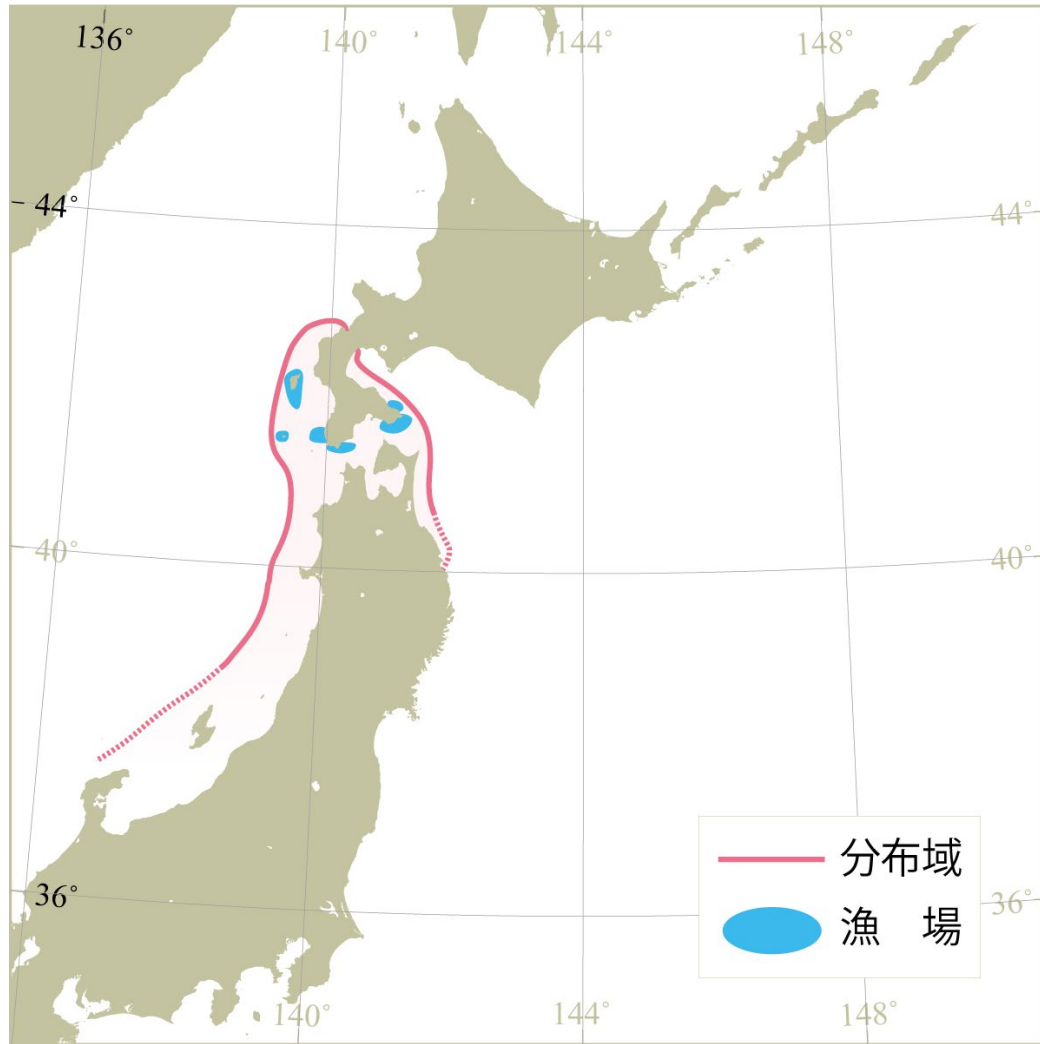




ホッケ道南系群 令和3年度資源評価結果

生物学的特性

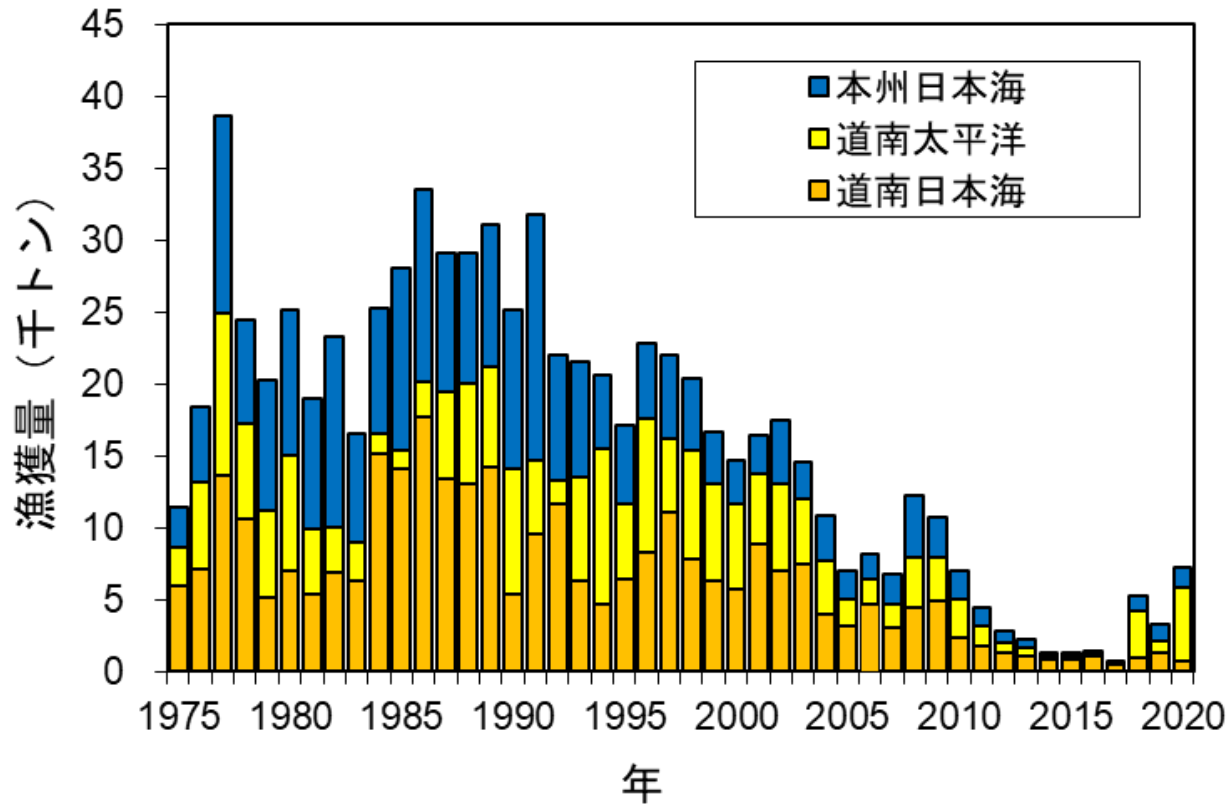


生物学的特性

- 寿命: 不明(他の系群では8歳以上)
- 成熟開始年齢: 1歳(不明)、2歳(約100%)
- 産卵期・産卵場:
11~12月、北海道渡島半島西岸、奥尻島沿岸、恵山周辺の岩礁域
- 食性:
仔魚期には主にカイアシ類、未成魚期にはヨコエビ類、岩礁周辺で定着生活に移行後は魚類、魚卵、イカ類、エビ類、ヨコエビ類、オキアミ類など
- 捕食者: 不明

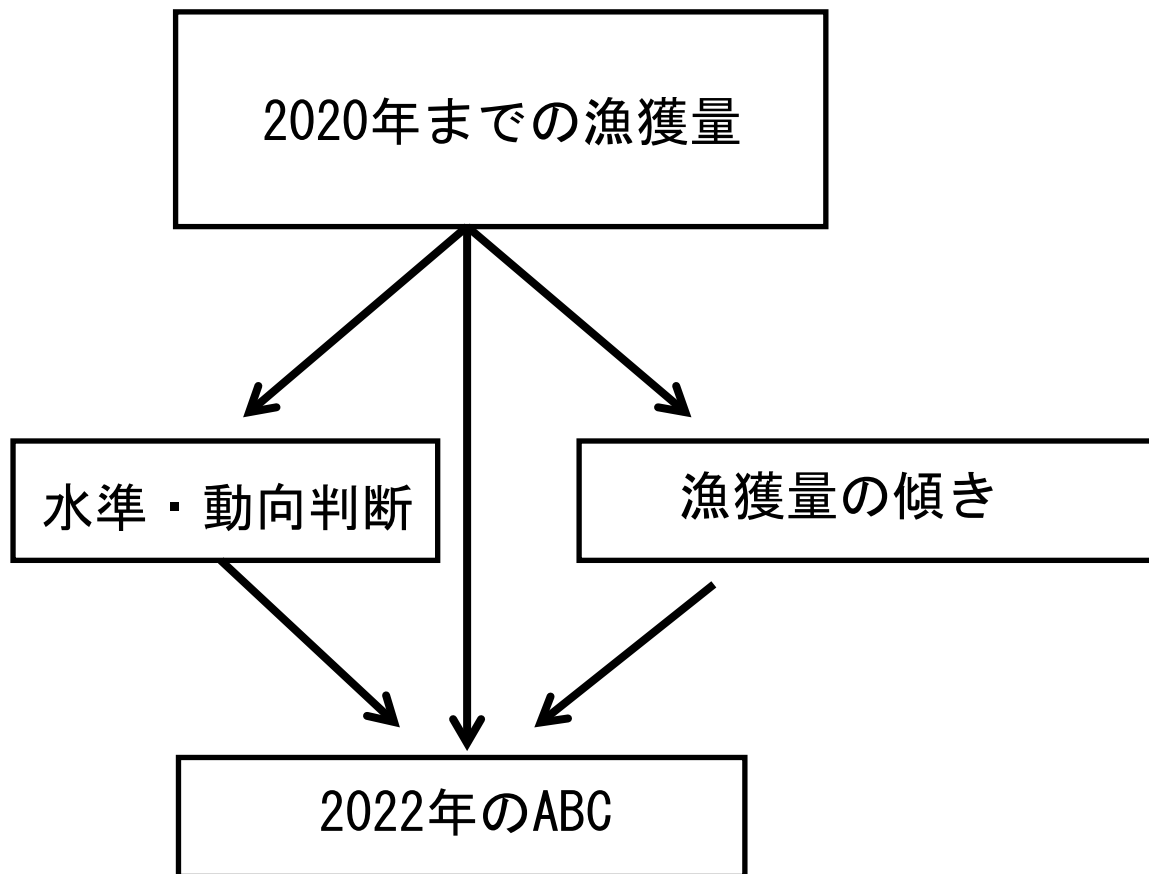
- ・ ほぼ周年漁獲されるが、特に春季の索餌期と秋季の産卵期に漁獲量が多い

漁獲の動向

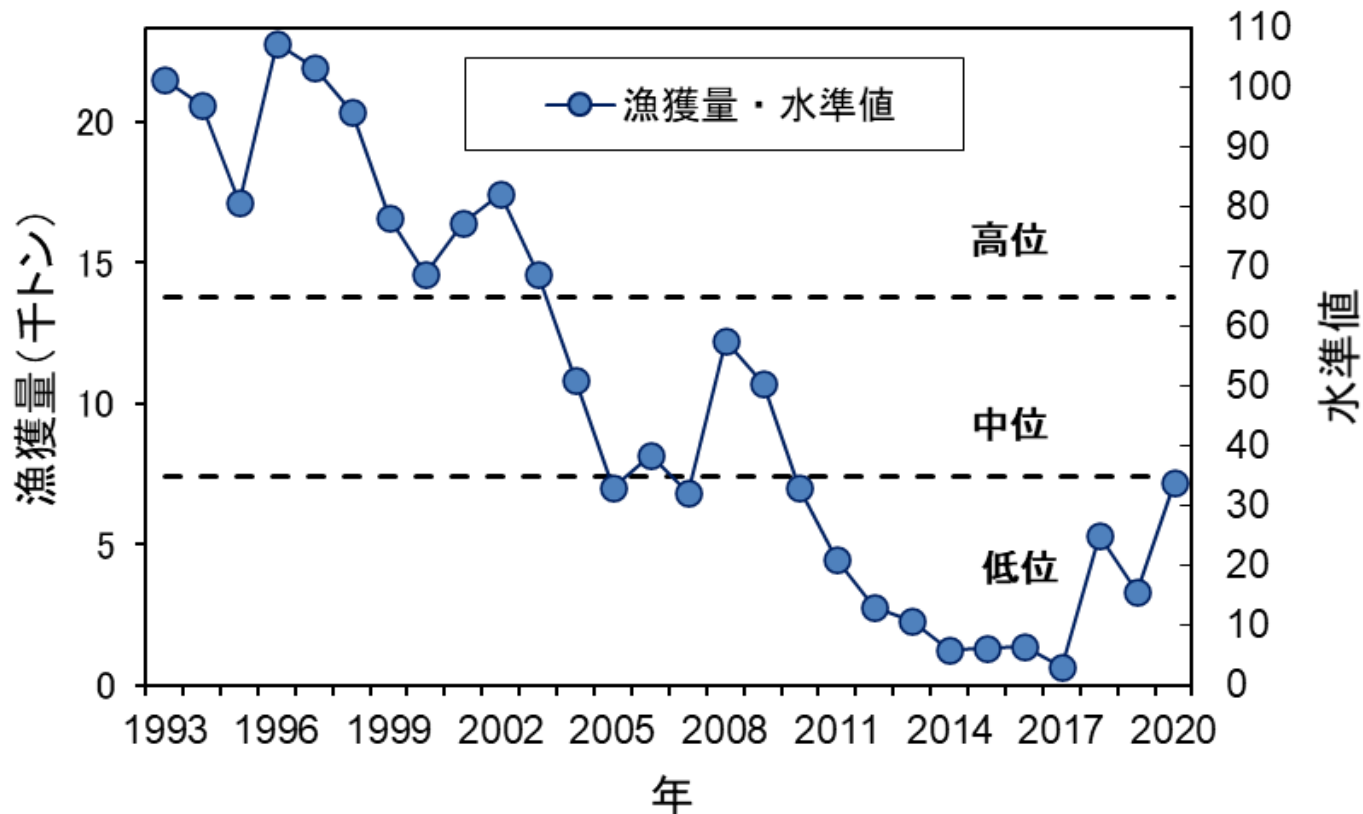


- 2020年の漁獲量：7,185トン
(2019年：3,317トン)
- 道南太平洋で急増して5,079トン、道南日本海で減少し721トン、本州日本海では若干増加し1,384トン
- 沿岸漁業（定置・底建網、刺網）が主体

資源評価の流れ



資源の動向



※水準区分 低位／中位：資源水準指数35、中位／高位：資源水準指数65
(1993年以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の資源量の値を指数として算出)

- 資源水準：2020年の漁獲量7,185トンで、
指数は34であり「低位」
- 資源動向：直近5年間（2016～2020年）の漁獲量の推移から「増加」

資源評価のまとめ

- 資源水準は低位、動向は増加
- 漁獲努力量が比較的安定したと考えられる1993年以降の漁獲量に基づいて資源状態を判断した

2022年ABC

管理基準	Target/ Limit	2022年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増減%)
0.7・Cave3-yr・1.09	Target	3,210	-	-
	Limit	4,020	-	-

- 算定規則2-2)より $ABC_{limit} = \delta^2 \cdot Ct \cdot \gamma^2$
- $\delta^2(0.7)$: 資源水準が低位である場合の標準値
- Cave3-yr : 2018~2020年の平均漁獲量
- $\gamma^2(1.09)$: 直近3年間の漁獲量の傾きと平均で求まる係数